

新潟県のエンターテインメントに関する現状

令和8年10月8日(木)
新潟県観光文化スポーツ部観光企画課

- 本県の令和8年度予算では、若者や女性に選ばれ、子育てに優しい新潟の実現に向けた取組を推進
- その中でも、「にいがた×音楽フェス」を推進する事業を含めた「大規模イベント等を活用した魅力発信プロジェクト」が重点事業として位置づけられているところ

若者や女性に選ばれ、子育てに優しい新潟の実現

市町村や民間団体等と連携し、経済的支援、結婚支援及び子育て環境整備に係る効果的な施策を実施し、子育てに優しい社会を実現します。また、若者や女性に選ばれる魅力ある地域づくりに取り組みます。

結婚・子育てに対するイメージ向上

妊婦が安心して生活できる新潟の実現

こども・子育てを支える環境整備



出会い

Step
01

拡

「出会いの一步・縁結び」応援プロジェクト 1.1億円 P18

- ハートマッチにいがたの入会登録料無料化(20~30代限定)を実施



- 新たに、大学生等を対象とした「こむすびインターン」を実施



結婚・出産

Step
02

3年後に約80社まで増やすことを目指す

新

「こむすび出産応援タクシー」普及促進事業 0.1億円 P21

- タクシー会社への妊婦搬送に関する研修費及び搬送実績に対する助成を実施



新

妊婦の救急搬送体制強化推進事業 0.1億円 P21

- 「妊婦情報事前登録制度」について、県内での導入を推進
- 救急救命士等に対し母体急変時の初期対応研修を実施



拡

妊産婦・小児難病患者等世帯に対する交通費等支援事業 0.2億円

- 妊産婦への交通費等の支援を拡充するほか、遠方の医療機関へ受診する小児難病患者等世帯への交通費を新たに支援

新潟県こむすび定期事業 10.1億円

- 出生時に定期預金計10万円分を支給

子育て

Step
03



拡

にいがた安心こむすび住宅推進事業 1.8億円 P20

- 子育て世帯向けにリノベーションした空き家を購入する世帯を支援

補助額は東京都を超え、全国トップ

全国トップクラスを目指した広域連携



リノベ後(イメージ)

拡

病児保育広域連携推進事業 0.6億円 P20

- 広域連携の推進やスマホでの確認・予約が可能となるシステムの導入

拡

放課後の遊び・学び充実支援交付金 2.6億円 P19

- 引き続き、放課後児童クラブ等のサービス拡充の取組に支援するほか、新たに、放課後の遊び・学びの充実に資する先進的な取組を支援



【先進的な取組の一例】
体育館での活動(実験教室)

全市町村へのサービス拡充を目指す



こむすび
にいがた

Step 0

若者や女性に
選ばれる魅力ある
地域づくり



えるぼし認定マーク



くるみん認定マーク

拡

ジェンダーギャップ解消・企業の魅力向上プロジェクト 1.3億円 P21

- 新たに、地域住民や地元企業等のジェンダーギャップ解消に向けた市町村の取組を支援
- 従来の「えるぼし」取得支援に加え、新たに「くるみん」取得支援を実施

県内全域での取組の波及を目指す

これまでの取組により「えるぼし認定」企業割合の本県順位は全国2位に！

令和8年度は、くるみんの全国トップクラスを目指す

拡

大規模イベント等を活用した魅力発信プロジェクト 1.1億円 P21

- 引き続き、観光コンテンツの成長等を支援するほか、新たに、東京ガールズコレクションなどの大規模イベントの活用や「にいがた×音楽フェス」推進会議の立ち上げを実施

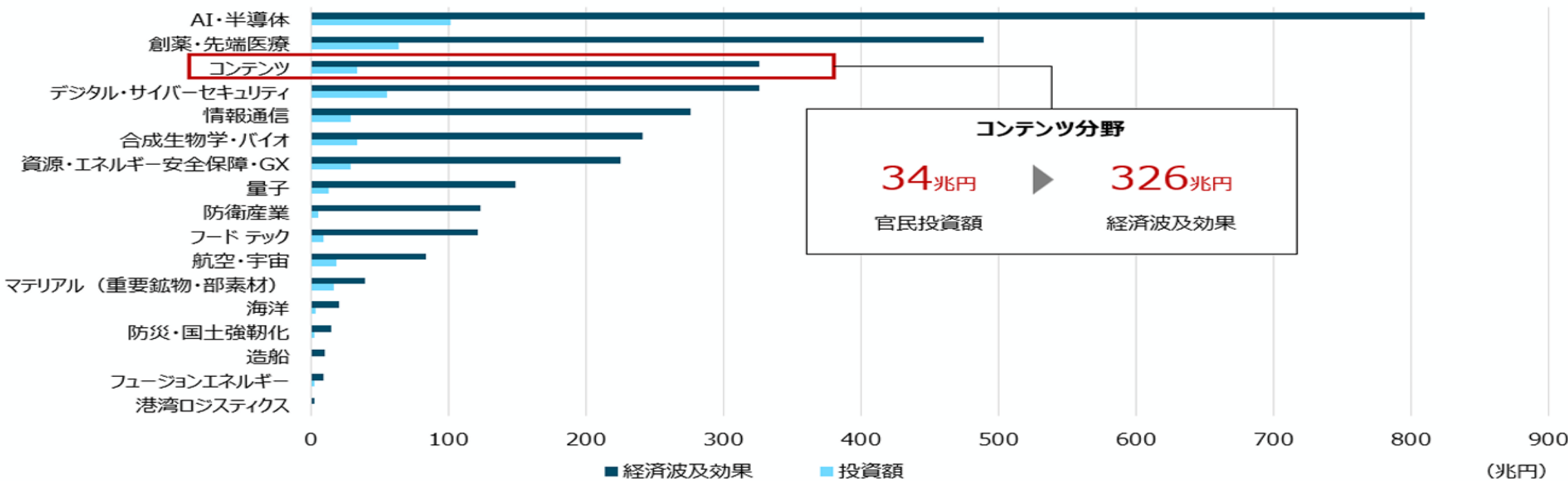
移住・就業等支援事業 [2月冒頭] 2.4億円

- 国制度を活用し、東京23区在住者で移住した者に支援金100万円を支給するほか、本県独自に、埼玉県など東京圏在住で移住した者に支援金50万円を支給

- 令和8年7月に策定された「日本成長戦略」で、音楽を含むコンテンツ産業※は、日本が経済成長を実現するために重要な17分野の1つに選定されたところ
- コンテンツ産業は戦略17分野の中でも3番目に経済波及効果が大きい成長分野であり、今後、国において国内投資の促進が期待される基幹産業

※ コンテンツ産業は音楽をはじめ、ゲーム、アニメ、マンガ、実写を指す

戦略17分野の官民投資額・経済波及効果

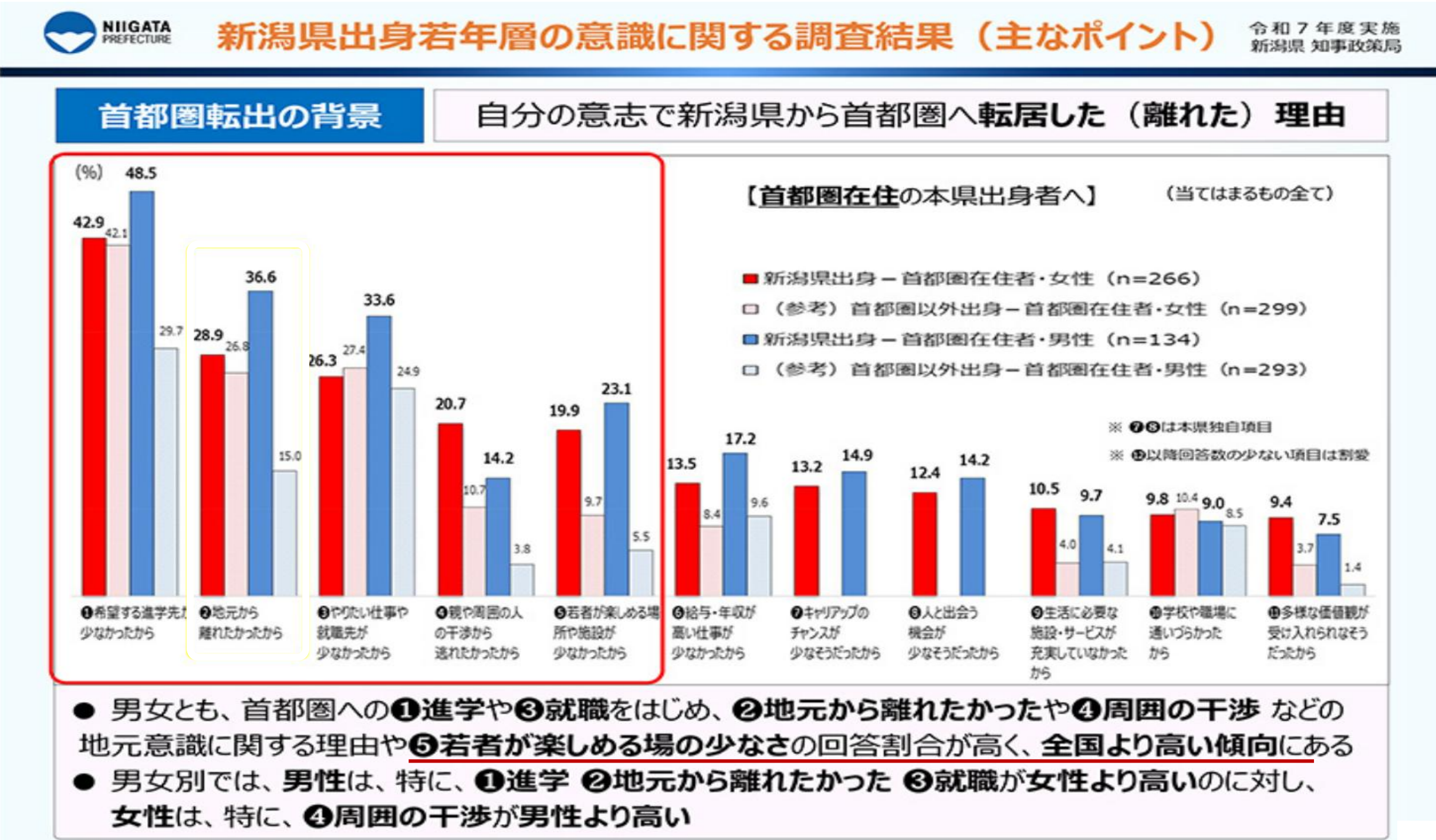


コンテンツ分野別の官民投資額・経済波及効果

	2026 年投資額	2033 年投資額	年間成長率	累積追加投資額	経済波及効果
ゲーム	6.5 兆円	19.0 兆円	+16.7%	24.5 兆円	191.4 兆円
アニメ	1.0 兆円	2.4 兆円	+13.6%	3.3 兆円	93.5 兆円
マンガ	0.3 兆円	0.9 兆円	+15.9%	1.6 兆円	17.2 兆円
音楽	0.2 兆円	1.1 兆円	+26.2%	3.0 兆円	15.0 兆円
実写	0.7 兆円	1.0 兆円	+5.6%	1.3 兆円	8.9 兆円
合計	8.7 兆円	24.5 兆円	+16.0%	33.7 兆円	326.0 兆円

本県出身若年層への意識調査

- 地方から若者が流出し、大都市への集中が続いていることは、地方人口減少の大きな要因
- 自分の意志で新潟県から首都圏へ離れた理由として、社会的な要因（地方から首都圏へ若者の流出）が上位を占める中、若者が楽しめる場の少なさの回答割合が高く、全国より高い傾向あり



（調査：2025年11月に実施、中学卒業時に県内在住であった18歳から39歳までの男女計800人が対象）

背景・現状

- 本県への旅行目的として「フェス、スポーツ観戦等」と回答した割合は若年層が高い。
➡ 若年層は「有名人等を応援する活動」「参加型イベント」に意識的にお金をかけている割合が高い(全国調査)
- フェス会場として活用可能な海水浴場やスキー場等が多くあり。
- 本県は全国的に有名な「フジロック」あり(日本三大音楽フェスのうち唯一の地方開催)

本県への旅行目的で「フェス、スポーツ観戦等」と回答した割合(年代別)

	18～29歳	30代	40代	50代	60・70代
フェス等が目的	12.9%	3.1%	8.6%	2.3%	2.3%

(出典：じゃらん調査2024)

意識的にお金をかけているもの(全国調査)

区分	食べること (1位)	有名人やキャラクター等 を応援する活動	参加型イベント(音楽/ グルメフェス、コンサ ート、ファンイベント等)
10代後半	48.3%	32.9%	16.3%
20代	50.0%	22.2%	16.5%
全体	48.6%	6.6%	6.6%

(出典：R4消費白書)



- フェス会場として活用可能な本県施設数の全国順位
- ・海水浴場：1位
 - ・スキー場：3位
 - ・キャンプ場：5位
 - ・ゴルフ場：18位

(出典：HP情報からの観光企画課調べ)

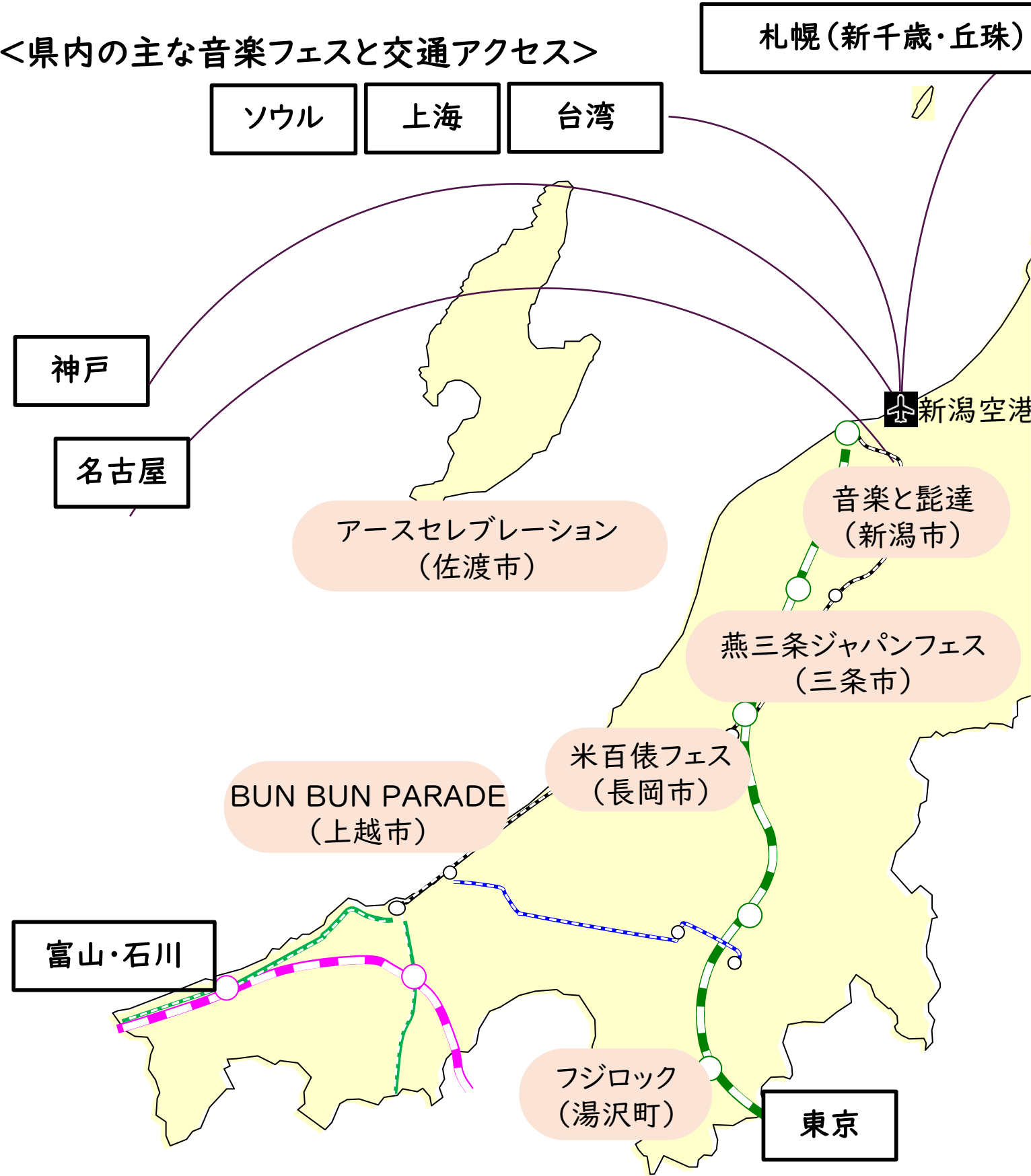
日本三大音楽フェス

	FUJI ROCK FESTIVAL (フジロック)	SUMMER SONIC (サマソニ)	ROCK IN JAPAN FESTIVAL (ロッキン)
初開催年	1997年	2000年	2000年
2025年開催日	7/25(金)～27(日)	8/16(土)～17(日)	9/13(土)～15(月祝) 20(土)～21(日)
延べ来場者数	約12.2万人	約21.6万人	約30.0万人
開催地	新潟県(苗場スキー場)	千葉県(2020マリンスタジアム等) 大阪府(万博記念公園)	千葉県(千葉市蘇我スポーツ公園)
コンセプト	自然との共生	都市型フェスティバル	日本人アーティストのみ
アーティスト	国内外、多彩で万人好み	国内外、トレンド重視	J-ROCK、J-POPオールスター

2025音楽フェス開催件数 () 2024年の件数

- | | |
|----------------|----------------|
| 1位：東京都 69(76) | 7位：北海道 15(12) |
| 2位：大阪府 63(35) | 9位：静岡県 14(18) |
| 3位：千葉県 29(26) | 10位：長野県 13(13) |
| 4位：神奈川県 27(35) | 11位：福岡県 12(18) |
| 5位：愛知県 21(20) | 11位：沖縄県 12(8) |
| 6位：兵庫県 19(16) | 13位：新潟県 9(8) |
| 7位：京都府 15(12) | 13位：福島県 9(12) |
| (1位～7位は三大都市圏) | 15位：群馬県 8(14) |

(出典：Webサイト「FESTIVAL LIFE」)



イベント	時期	集客	会場・アクセス等
長岡米百俵フェス(長岡市)	5月2日間2018～	20千人	○国営越後丘陵公園 JR長岡駅からバス40分 関越自動車道長岡ICから10分
フジロックフェスティバル(湯沢町)	7月3日間1997～	122千人	○苗場スキー場 JR越後湯沢駅からシャトルバス40分+α 関越自動車道湯沢ICから40分+α
アースセレブレーション(佐渡市)	8月3日間1988～	32千人	○小木港、小木商店街等 小木港から徒歩10分 両津港から車1時間
音楽と髭達(新潟市)	8月1日間1996～	30千人	○ハードオフエコスタ JR新潟駅からバス20分
燕三条ジャパンフェス(三条市)	11月1日間2023～	3～5千人	○燕三条地場産業振興センター JR燕三条駅から徒歩5分 北陸自動車道「三条燕IC」から車で5分
BUN BUN PARADE(上越市)	11月1日間2025のみ	1.5千人	○上越文化会館 最寄りの春日山駅から徒歩約2～3分 車の場合は上越ICから約5～10分

音楽フェスの集客力・若年層の誘因力に着目し、県として音楽フェス開催を後押し

県内の音楽フェスを含むフェス開催状況（2025年度）

○ 新潟県内で開催された音楽を含めたフェスは約50件

エリア	計(件)	音楽	芸術	食	その他
新潟・阿賀	10	2	3		5
村上・新発田	2			2	
弥彦・燕三条	8	3		3	2
長岡・柏崎	9	3	1	4	1
湯沢・魚沼	7	6		1	
妙高・上越・糸魚川	10	4		2	4
佐渡	1	1			
総計	47	19	4	12	12



（出典：市町村照会結果（観光企画課調べ））

（参考）県内市町村のイベント補助支援の状況 ※ 下記事業の対象経費は、報償費、使用料及び賃借料、光熱水費及び燃料費、印刷製本費、消耗品費、役務費、委託料など

自治体名	補助概要	補助対象者	補助率	補助上限額
新潟県	本県特有の観光コンテンツとして成長が期待できる取組や観光・文化・スポーツの連携に資する前向きな取組等に対して支援 （事業名：観光地域づくり支援事業補助金）	市町村、観光協会、民間企業等	4／10	〔 5,000千円 知事特認 10,000千円 〕
	地域経済の活性化に向けた消費喚起や需要拡大に資する取組を支援 （事業名：にいがた経済好循環推進事業）	パートナーシップ構築宣言登録を行った県内の事業者等が構成員に半数以上含まれる団体	1／2	1,500千円
弥彦村	弥彦村の地域振興に資する事業を行う際の事業費を支援 （事業名：地域振興事業補助金）	弥彦村内の民間事業者団体	1／2	500千円
魚沼市	魚沼市の観光振興と地域活性化に資するものであること。 （事業名：観光イベント等補助金）	実行委員会その他の団体	1／2	共催事業 180万円 （条件付き+20万円/日） その他事業 70万円
糸魚川市	地域の特色を活かした観光イベント等誘客活動事業を実施する団体に対する支援 （事業名：糸魚川市観光イベント等誘客活動事業補助金）	観光誘客イベント、観光誘客につながる地域振興イベントを実施する団体	補助対象経費の10分の10以内の額で市長が予算の範囲内で補助対象事業ごとに別に定める額	

※ その他、クラウドファンディング型ふるさと納税を活用している市町村もあり、様々な形態で支援体制を構築

ヒアリング等による現状把握



先進自治体

(滋賀県・草津市:イナズマロックフェス)

- ◆ 音楽フェスでのノウハウや知見を他のフェスに活用することが可能
- ◆ 収益金を県や地元市町村に還元するスキームの構築はフェスの継続開催をする上で重要

(長岡市:長岡米百俵フェス)

(湯沢町:フジロックフェスティバル)

- ◆ 地元理解は重要(行政に求められる重要な役割)

長岡米百俵フェス主催者

- ◆ 老若男女から子育て中の家族向けまで幅広い層の受け入れる環境整備が重要
- ◆ 地域住民を中心とした利用者だけでなく、交流人口拡大のためには地域外からの誘客を更に進めていかなければならない



一般社団法人コンサートプロモーターズ協会

- ◆ フェスは7月～9月まで飽和状態
- ◆ 新規フェスの開催を目指すことよりも、既存フェスを育成・成長させ、継続していくことが大事
- ◆ 音楽に限らず、様々なコンテンツと融合
- ◆ 行政の役割は主催者が負担と感じる部分の側面的支援(住民対応、二次交通の確保など)

その他(ニュース番組特集)

- ◆ 音楽フェスの昨年市場規模が過去最高
- ◆ 盛り上がりの背景にはサブスクの普及あり
- ◆ 楽しみは音楽だけでなく、様々なコンテンツと融合することで楽しみ方も多様
- ◆ 子どもから大人まで幅広い客層に人気、特に子育て世代が参加しやすい環境・循環づくりが必要(長く愛されるフェスに)

ヒアリングを踏まえ、つまり.....

既存フェスを段階的に育成し、地域に定着させることが求められるのではないか